

愛ランドまつやま

発行：松山離島振興協会 / 文責：会長 田中政利

【お問い合わせ先】

事務局長 俊成雅直 Tel：997-2189 メール：airando-matsuyama@rhythm.ocn.ne.jp



春の風ただよう睦月でお大師参りをすれば、必ずや御利益が...

♪ 春の睦月で ♪

お大師様の
【御利益】

ウォーキング!

平成二十年四月十二日の土曜日、『お大師参りウォーキング in 睦月』が睦月島で開催されました。2回目の開催となるこのイベントは、一昨年「島めぐりクルージング」をいち早く開催した睦月地区のみなさんの盛り上がりから企画・開催されたもので、今回は昨年の百六十人を大きく上回る三百人超の市民のみなさんにご参加いただきました。すがすがしい好天の下、参加のみなさん方は、島の農道沿いに設置されたお地藏様を順にめぐり、お大師様のありがたい御利益をいただきながら、また道中では寒天や醤油もち・みかんもちなどのおせつたいを受けながら、満開の島の春を心ゆくまで堪能されました。

「島の桜を見に来ませんか」とタイトルされた今回のウォークには、散策時間の異なる3つのコースをご用意。一番長い【四国八十八ヶ所めぐりコース】が3時間程度、【西国三十三ヶ所】は2時間程度、集落内の名所をめぐるコースは1時間程度と、お好みのコースを選べただけです。中には、四国八十八ヶ所と西国三十三ヶ所の両方のコースを回られた方もいらっしゃるなど、健脚自慢のみなさんにはちょっと驚かされました。そして、みなさんのお昼ごはんは「鯛めし・たこめし弁当」です。島の名物が一度に味わえる趣向にみなさんご満足いただけたようです。さらに、港前のテントでは、島の女性陣がたくさんのおみやげ品を出版販売し、旅の思い出と共に持ち帰りいただきました。

「まだの方には『ぜひ一度』、お馴染み様には『またのお越しを心からお待ちしています』は、睦月島の協会の理事さんの弁です。【おもてなしの心あふれる島睦月】へ、お出かけください。



鯛とたこが両方味わえる弁当



『忽那諸島をご案内します』



松山離島振興協会では、将来に開催をめざす島嶼部博覧会『しまはく』への準備として、忽那諸島のボランティアガイド養成に今年度から乗り出します。これまでも、協会が松山市の坂の上の雲フィールドミュージアム活動支援事業において開催してきた「島めぐりクルージング」において、各島それぞれの案内人を発掘してきましたが、このたび、自分の島以外の案内もできる人材の育成に本格的に取り組めます。

今年度が最終年度となる松山市の坂の上の雲フィールドミュージアム活動支援事業ですが、協会ではこれまでの2年間、本事業を活用し「島めぐりクルージング」を3度開催したほか、地域資源調査の成果を元に各島それぞれのイラストマップを作成するなど、『しまはく』開催のための下準備を粛々と行ってきました。こうした取り組みはたいへん地味なもので、華やかな成果を生むような活動ではありませんが、必要にして不可欠な営みであったと自負しています。そうした協会のこれまでの積み上げの過程を自身振り返りながら、今年度は、さらに重要度の高い人材育成の分野の事業への取り組みを始めることにいたしました。



島を訪れたみなさんへのご案内は不可欠です

ボランティアガイド養成事業と銘打った今回の取り組みは、2つの取り組みで構成されています。まず、一つ目が『忽那諸島ガイド研究会』の設立と『忽那諸島ガイドブック』の作成の試みです。『しまはく』開催の折に、最も重要となるのがボランティアガイドの存在です。島を訪れるみなさんにもてなしの言葉をかけつつ、島の魅力を紐解いていく役目。そうした人材は、現在の忽那諸島にはまだ数えるほどしかいらっしゃらないのが実情でしょう。しかも、その方たちの中で、自分の島以外のことを説明できる人となれば、なおさらその数が限られてきます。

そこで、今回、『忽那諸島ガイド研究会』を9島から選出したメンバーで設立し、各島の現地踏査を行いながら、併せてボランティアガイド養成のためのマニュアル本であるところの『忽那諸島ガイドブック』の作成をめざします。

また、二つ目の取り組みとして、『お先達養成講座』の開催と『島四国』歩き遍路マップ』の作成を行います。毎年四月二十・二十一日の両日に興居島で開催されている春の風物詩【島四国】。本四国でもお馴染みのお先達なる先導さんが、札所から札所への道々で、お説教をしながらお四国参りのみなさん方をエスコートしています。

しかし、興居島も他所の例に違わず、急速な高齢化に伴い、お先達を務められる方が減少しているのが実情です。

そこで、今回、興居島の由良地区・泊地区の両寺院の住職のご協力などを得て、実践活動を伴った『お先達養成講座』を開催するとともに、リピーター獲得に役立てるための『島四国』歩き遍路マップ』を作成し、興居島古来の島文化とも言える【島四国】をひとつの観光資源として捉え、住民自らの活動の中で最大限磨き上げていきたいと考えています。

なお、この『お先達養成講座』への参加は、興居島住民だけでなく、広く島外のみなさんの参加も求めることとしていきますので、ご関心のある方は、松山離島振興協会までお問い合わせください。



興居島【島四国】の一番札所、由良の「観音寺」

“自給自足の島暮らしを満喫”

今回ご紹介するのは、安居島にお住まいの佐伯遵也さん・恭子さんご夫妻です。佐伯さんご夫妻は、現在の家を十二年前に建築し別荘として利用していましたが、七年前からは安居島に完全移住。自ら開墾した畑でさまざまな無農薬野菜を栽培し、釣果で食卓をにぎわすなど、ほぼ自給自足の生活を営んでおられます。元々は、旧北条市で建設会社を経営していた佐伯ご主人。「島の水道工事を請け負い、島へ足繁く通ううちに、安居島の自然に魅せられ、移住を決意した」といいます。佐伯邸は、山の中腹に建てられたログハウス風のお住まい。大窓から眺める海は、時の経つのを忘れるほどの絶景。「この眺めは、毎日眺めていても、まったく飽きない」とは、ご夫妻そろっての弁です。



農林水産まつりでは特産の生ひじきを販売していただきました

そんなご夫妻が、島のみなさんを巻き込んで取り組み始めたのがひじきの加工販売。それまで島の口にしかなかった島の特産品である生ひじきを、商品化した島の活性につなげようという試みです。今では、多くのファンを獲得するなど、商品自体のすばらしさが多くの消費者にご理解いただけ始めたようです。

協会では、安居島ブランドの生ひじきを次なる「まつやまブランド」にするべく、今後も全面的にバックアップしてまいります。



【安居島の天然生ひじき】

11月から4月、月4～5回、資源が枯渇しないよう根を残し収穫。洗いをかけ、鉄釜で炊くこと4～6時間、風味豊かな生ひじきが出来上がる。商品はふなや旅館で手に入る。問い合わせは佐伯さんまで。電話992-0567

『3年目へ向け心機一転！』 4月19日/第3回 総会を開催

去る4月19日、泊公民館において松山離島振興協会の第3回総会が開催され、すべての提出議案が承認されました。総会では新役員的人事案件も審議され、田中政利会長、俊成雅直事務局長が留任したほか、新副会長に泊地区の小池嘉彦さん、中島大浦地区の古野真理子さんがそれぞれ選出されました。また新設のしまづくり部の部長には内藤久司さんが、観光振興部長には田中治さんが新たに選任されました。

今後におきましては、執行部は効率的な意思決定の下、コンパクトな会運営に努める一方、組織としての協会は徐々にその裾野を広げながら、さらなるネットワーク強化に努めますので、ご協力のほどお願いします。



新執行部が所信表明し3年目が始まりしました

『シンボルマークは“波間に浮かぶ忽那の島々”』

東京在住のデザイナー溝田明さんは、中島のご出身。新生中島小学校の校章などのデザインを担当する傍ら、私たち協会のシンボルマークやロゴなどをデザインしていただきました。永年の懸案だった組織のPR活動に、なんとも力強い応援団ができたのです。

さっそく、坂の上の雲ミュージアムの1周年記念イベントや、大阪で開催のしまづくりキャラバン2008で、シンボルマークを刷り込んだのぼりやはっぴが大活躍。全国からお越しの、多くの観光客のみなさん方の目に触れることとなりました。今後も、さまざまな機会でお眼にかかると思います。

なお、シンボルマークの入ったTシャツやジャンパーの作成も今後予定しており、会員のみなさんには、本会報でご案内しますので、乞うご期待です。



【地域産業部】

松山離島振興協会が、松山観光港ターミナル(株) および高浜地区自治連合会との共催で、隔月の第4水曜日に松山観光港ターミナルビルで開催中の『ベンチャーフェア』では、忽那諸島のまさに旬な特産品を順次出展しています。

地元住民はもとより、多くの県外観光客が行き来する場所での販売活動は、今後の島の特産品開発のための絶好の場面ですので、みなさんも、ぜひご参画いただきますようご案内いたします。

《お問い合わせ・お申し込み》

部長 島原和暁

TEL.961-3293



【観光振興部】

今年度が最後となる「坂の上の雲フィールドミュージアム活動支援事業」を活用し、今年度は『ボランティアガイド養成事業』を行います。

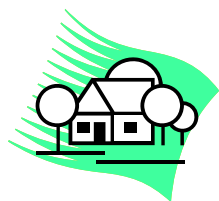
本事業で、忽那諸島の案内人となるべき人材を数多く見出し、各島の魅力を余すことなく伝える伝道師となってもらうことが、『しまはく』開催までの協会の準備作業として、何にも増して急務だと捉えています。

見どころの数だけガイドが居る。そんな体制をめざし、励んでいきたいと思ひます。

《お問い合わせ・お申し込み》

部長 田中 治

TEL.998-0243



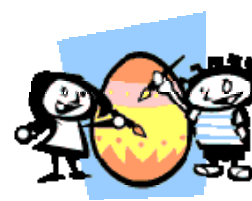
【しまづくり部】

今年度から、旧生活環境部と旧教育振興部を統合し、新たにしまづくり部として活動を開始しました。島民の生活環境全般にわたるさまざまな事業を受け持つほか、次代を担う子どもたちの将来のことを最優先に、さらには生涯学習の振興なども含めた各種事業を幅広く展開してまいりますので、ご参加、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

《お問い合わせ・お申し込み》

部長 内藤久司

TEL.998-0606



ホームページは随時更新！最新情報が盛り沢山

<http://iland-matsuyama.infoseek.ne.jp>



☆ 松山離島振興協会は、会員のみなさんの会費によって運営されています☆

☆ あなたも会員になって、いっしょに活動しませんか☆